

B20 における習近平演説

田中 修

はじめに

9月3日、20カ国工商サミット（B20）開幕式で、習近平国家主席は演説を行った。本稿では、このうち中国経済に関わる部分について概要を紹介する（新華社杭州電 2016年9月3日）。

改革開放は一瞬のうちに38年が過ぎた。今日、中国経済の総量が増大し、世界との協力が不断に深まり、中国経済の動向が世界の関心を受けている。多くの人々が皆、中国経済は持続的な安定成長を実現できるかどうか、中国は改革開放を推進できるのか、中国は「中等所得の罠」に陥ることを避けられるかどうか、に関心を寄せている。

行動は言動に勝る。中国は実際の行動によって、これらの問題に回答してきた。今年年初、中国は第13次5カ年計画要綱を打ち出し、小康社会を全面的に実現するという奮闘目標をめぐり、発展がアンバランス・不協調・持続不可能といった際立った問題について、イノベーション・協調・グリーン・開放・共に享受という発展理念を牢固に樹立し、断固として貫徹しなければならないと強調した。

今日の中国は、既に新たな歴史の起点にある。この新起点は、すなわち、

- ①中国が改革を全面的に深化させ、経済社会発展の新たな動力を増やす新起点であり、
- ②中国が経済発展の新常態に適応し、経済発展方式を転換する新起点であり、
- ③中国が世界と深く相互に連動し、世界に向けて深く開放する新起点である。

我々は、経済の中高速成長を維持する自信・能力があり、引き続き自身を発展させると同時に、世界のためにより多くの発展のチャンスをもたらす¹。

（1）新起点において、我々は断固として改革を全面深化させ、より好い発展の見通しを開拓する。

中国経済の発展は、新常態に入っている。これは、中国経済を、形態がより高級で、分業がより最適化され、構造がより合理的な段階に向け進化させるために必ず經由すべきプロセスである。新常態下で、経済の中高速成長を維持するには、改革に依拠しなければならない。因襲にとらわれていては出口がなく、畏縮して進まなければみすみすチャンスを逃すことになる。中国の改革の方向は既に明確であり、動揺はありえない。中国の改革の歩みは断固として前に向いており、緩めることはありえない。

¹ ゴシックは筆者。

中国の改革は、既に堅壘攻略の時期・深水区域に入っており、我々は壮士が腕を断つ勇氣、不死鳥のごとき決意をもって、敢えて長年累積した容易に直らぬ弊害にメスを入れ、敢えて深層レベルの利害関係・矛盾に触れて、改革をとことん進める。

我々は、引き続きサプライサイド構造改革を推進し、当面の経済発展における主要矛盾をしっかりと解決し、要素配分の最適化と産業構造調整を通じて供給システムの質・効率を高め、市場の活力を奮い立たせ、協調的な発展を促進する。

我々は、引き続き体制メカニズムを刷新し、利益固定化の藩屏を突破し、法による国家統治を全面的に推進し、資源配分における市場の決定的役割を更に好く発揮させ、政府の役割を更に好く発揮させる。

（２）新起点において、我々は断固としてイノベーション駆動による発展戦略を実施し、より強い成長動力を放出する。

科学技術イノベーションにしっかりと取り組むことは、すなわち発展の急所を掴むことである。中国経済の発展の少なからぬ分野は、大きいが強くなく、大きいが優れておらず、長期にわたり主として資源・資本・労働力等の要素投入に依存して経済成長を支え規模を拡張してきた方式は既に持続不可能であり、中国の発展は正に動力の転換・方式の転換・構造調整という繁雑で荷が重い任務に直面していることを、我々ははっきり認識している。

イノベーション型国家と世界的な科学技術強国を建設することは、中国が発展するための切迫した要求であり、必ず通るべき道である。

我々は、正にイノベーション駆動による発展戦略を実施しており、イノベーションの第１の動力としての役割を発揮させ、量的成長から質の向上への転換の実現に努力している。

我々は、発展理念・体制メカニズム・ビジネスモデル等の、全方位的で、様々なレベルの、分野が広範な大イノベーションを普及させ、発展の内生的動力と活力の推進において根本的転換をもたらす。我々は、重大プロジェクト・重点方向において率先してブレークスルーを勝ち取り、国際的な大科学計画・大科学プロジェクトを積極的に牽引する。

我々は、経済・産業の発展に早急に必要な科学技術問題を深く研究し解決し、発展方式の転換・構造調整の促進、現代的な産業システムの建設、戦略的新興産業の育成、現代サービス業の発展の方面の需要を軸に、科学技術の成果の転化を推進し、バリューチェーンのミドル・ハイレベルに向けた産業・製品の飛躍を推進し、イノベーションによる駆動により多く依存し、先発の優位性をより多く発揮する先導的な発展モデルを作り上げる。

（３）新起点において、我々はグリーン発展を断固として推進し、より良い質・効率を追求する。

私は何度も述べているが、山水の美しさは宝であり、環境保護はすなわち生産力の保護

であり、環境改善はすなわち生産力の発展である。この単純素朴な道理はますます多くの人々のコンセンサスとなっている。

我々は、いささかも動揺することなく持続可能な発展戦略を実施し、グリーン・低炭素・循環発展を堅持し、資源節約・環境保護という基本国策を堅持する。我々がグリーン発展を推進するのは、気候変動と生産能力過剰問題に主動的に対応するためでもある。今後 5 年、中国の GDP 単位当たり用水量、エネルギー消費、二酸化炭素排出量を、それぞれ 23%、15%、18%引き下げる。

我々は、空が青く、大地が緑で、水が清らかな美しい中国を建設することにより、住むにふさわしい環境において庶民に生活を享受させ、経済発展がもたらす生態効果を確実に実感させなければならない。

2016 年から、我々はサプライサイド構造改革の推進に力を入れており、需給関係を主動的に調節している。5 年の時間をかけ粗鋼の生産能力を 1~1.5 億トン再圧縮し、3~5 年の時間をかけ石炭の生産能力を 5 億トン前後再退出させ、5 億トン前後を減量・再編しなければならない。これは、我々が自身の長期発展から出発し、生産能力削減・構造調整・安定成長から出発して、自主的に採用するアクションである。中国は生産能力削減方面において、力を最大にし、措置を最も実効あるものとして、言ったことはやり遂げる。

（４）新起点において、我々は断固として公平・共に享受することを推進し、民衆の福祉をより多く増進する。

民は国の本であり、本がしっかりして国は安寧となる。人民を中心とすることを堅持し、これを経済社会発展の各方面・各段階においてしっかり体現させなければならない。

我々は、人民が素晴らしい生活へと向かうよう順応させ、人民の生活の質・水準を不斷に高め、公共サービスを健全化し、中等所得層のウエイトを拡大する。とりわけ、困窮大衆に対する精確な貧困扶助を強化し、2020 年までに現行基準下で 5700 万人余りの農村貧困人口の全部脱貧困を実現し、貧困県を全部解消する。

改革開放以来、中国は 7 億人余りを貧困から脱却させたが、これは世界の貧困削減人口の 70%を占めており、世界の貧困削減事業のために重大な貢献を行った。中国は引き続き、世界の反貧困のために貢献する。

我々は、公平・公正を更に重視し、発展のパイを大きくすると同時にパイをうまく切り分け、人民が最も関心をもち、最も直接的で最も現実的な問題から出発して、庶民により多く達成感・獲得感を与える。

（５）新起点において、我々は断固として対外開放を拡大し、より広範な互惠・ウィンウィンを実現する。

互惠・ウィンウィンの開放戦略を励行し、より全面的で、より深く、より多元的な対外

開放の構造を不断に創造することは、中国の戦略チョイスである。中国の対外開放は停滞することはなく、ましてや後戻りすることはない。

我々は、引き続き経済のグローバル化プロセスに深く参加し、マルチの貿易体制を支援する。我々は、外資参入を一層緩和し、簡便さの程度を高め、公平・開放的な競争を促進し、優良なビジネス環境を全力で作り上げる。同時に、我々は関係国家と自由貿易協定・投資協定の協議・締結を加速し、国内におけるハイレベルの自由貿易試験区の建設を推進する。

人民元レートの商品化改革を秩序立てて展開し、国内資本市場を段階的に開放すると同時に、我々は引き続き人民元の海外進出を推進し、金融業の国際化レベルを高める。

中国の発展は国際社会に利益をもたらすものであり、国際社会のためにより多くの公共在を提供したいと願っている。我々は「シルクロード経済ベルト・21 世紀海のシルクロード」を提唱しているが、その趣旨は沿線各国と中国の発展のチャンスを分かち合い、共同繁栄を実現することにある。シルクロード経済ベルトの一連の重点プロジェクトと経済回廊の建設は、既に重要な進展をみており、21 世紀海のシルクロード建設は同歩調で推進されているところである。我々が創設を提唱したアジアインフラ投資銀行は、既に地域インフラ建設方面で積極的な役割の発揮し始めている。

私が特に指摘したいと思うのは、中国が唱導する新メカニズム・新提議は、ほかに一戸を構えるということではなく、ましてや誰かに対するものではなく、現行の国際メカニズムを有益に補完し整備するものであり、目標は協力・ウインウイン、共同发展だということである。中国の対外開放は、

- ① 1 人舞台を演じるということではなく、各方面の共同参加を歓迎するものであり、
- ② 勢力範囲を追求するものではなく、各国の共同发展を支援するものであり、
- ③ 自己の裏庭を建設しようとするものではなく、各国が共に享受できる百花公園を建設しようとするものである。

我々が上述の改革・発展措置を実施する決意は固い。これらの措置は、既に成果が現れ始めている。今年上半期、中国の経済成長は 6.7%であり、産業のグレードアップと構造調整の歩みは加速しており、GDP に対する最終消費の寄与率は 73.4%に達し、第 3 次産業の付加価値は GDP の 54.1%を占め、個人所得は安定的に伸び、都市の新規就業増は 717 万人である。

中国の発展見通しは、必ずやますます良好となり、世界に必ずやますます大きな貢献をなすものと信じていただいてよい。

(9 月 7 日記)